

平成24年度 事業報告書

自：平成24年4月1日 至：平成25年3月31日

I 公益目的事業

公益目的事業 日本の精神文化・伝統芸術である詩歌吟詠を普及振興、継承する事業
日本の精神文化である詩歌吟詠を受け継ぐ人材の育成、自主公演、一般国民への普及啓発を行う。

1 普及啓発吟詠発表会

(1) 普及の為の吟詠発表会

「普及の為の吟詠発表会」を下記のとおり3地区で開催した。

なお、各発表会に「全国優秀吟者吟道大会」入賞者の「吟詠十傑」を派遣した。

- ① 平成24年6月17日(日) 中国四国地区 香川県観音寺市民会館
- ② 同年7月8日(日) 神静地区 神奈川県綾瀬市文化会館
- ③ 平成25年2月9日(土) 関東地区 東京都府中市交流文化センター

(2) 島嶼普及活動

「第2回普及の為の吟詠発表会」を平成24年7月15日(日)、北海道利尻町交流促進施設「どんと」で、島嶼の普及活動として、利尻町町長を始め地元の会員以外の方・地元会員・道内からの応援会員等200名が参加して開催した。

(3) お昼休みの初吟会

「平成25年 お昼休みの初吟会」を平成25年1月15日(火)～1月17日(木)の昼休み時間に、岳風会館・吟道研修センターで会員以外の方と初心者を対象に行った。

2 青少年吟詠大会・青壮年吟詠研修交流会・高齢者吟詠大会

(1) 青少年吟詠大会

「青少年吟詠大会」(少年少女吟詠大会)を6地区6会場(東北、関東、神静、長野、北陸、中部)で開催した。

(2) 青壮年吟詠研修交流会

「青壮年吟詠研修交流会」を6地区6会場{東北地区(仙台)、関東地区(千葉)、神静地区(川崎)、北陸地区(富山)、中国四国地区(岡山)、九州地区(福岡)}で開催した。

(3) 高齢者吟詠大会(尚歯会吟詠大会)

70歳以上の高齢者を対象とした大会を下記のとおり開催した。

- ① 「第1回尚歯会全国吟道大会」を平成25年3月24日(日)、東京の日本教育会館で、出吟者596名と会員以外の方を含め多数の鑑賞者が参加して開催した。
なお、95歳以上の出吟者2名の記念撮影を参加者全員が祝福するなか行った。
- ② 「尚歯会吟詠大会」を7地域で開催した。
 - ア 平成24年9月30日(日) 四国 香川県観音寺市民会館
 - イ 同年10月3日(水) 神奈川県 神奈川公会堂
 - ウ 同年11月11日(日) 埼玉県 春日部市商工振興センター
 - エ 同年11月17日(土) 岡山県 JA岡山

オ 同年 11月21日(水) 千葉県・茨城県 千葉市民会館
カ 平成25年 2月16日(土) 愛知県 豊川市音羽文化ホール
キ 同年 3月30日(土) 長野県 ベルインこもろJA佐久浅間

3 詩吟の指導者・継承者育成事業(師範位を認定する審査・研修事業)

(1) 上席師範の審査・研修講座

「平成24年度 上席師範審査・研修講座」を平成24年6月30日(土)、木村岳風記念館・吟道研修センターで、全国から14名の受審者が参加して開催した。なお、資格審査合格者に認定証(許證)を授与した。

(2) 正師範の審査・研修講座

「平成24年度 正師範審査・研修講座」を下記のとおり2会場で開催した。なお、資格審査合格者に認定証(許證)を交付した。

① 平成24年8月25日(土) 大阪会場 大阪リバーサイドホテル 受審者22名。

② 同年9月1日(土) 東京会場 岳風会館・吟道研修センター 受審者39名。

(3) 師範の審査・研修講座

「師範審査・研修講座」に全国から受審者が参加して、下記のとおり7回開催し、資格審査合格者204名に認定証(許證)を交付した。

①平成24年 8月26日(日) 札幌会場 札幌市教育文化会館

② 同年10月20日(土) 仙台会場 仙台市シルバーセンター

③ 同年10月20日(土) 東京会場 岳風会館・吟道研修センター

④ 同年11月11日(日) 大阪会場 大阪リバーサイドホテル

⑤平成25年 2月2日(土) 東京会場 岳風会館・吟道研修センター

⑥ 同年 2月9日(土) 福岡会場 林英ビル

⑦ 同年 2月9日(土) 沖縄会場 ホテルサンパレス球陽館

4 吟詠教本の作成頒布

(1) 吟詠教本の作成頒布

『吟詠教本 漢詩篇(一)～(三)』、『普及版吟詠教本 漢詩篇(一)～(三)』、『吟詠教本 和歌篇(上)・(下)』、『吟詠教本 俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇』、『吟詠教本 律詩・古体詩篇(上)・(下)』等を作成し、希望者に頒布した。

(2) 吟詠教材シリーズ1『俳諧歌撰』の作成頒布

吟詠教材シリーズ1『俳諧歌撰』を作成し、希望者に頒布した。

5 機関誌『吟道』の発行

機関誌『吟道』に平成23年度(公益認定後)事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画及び収支予算、主たる行事の紹介、吟道の指導及び詩歌吟詠の教材に関すること、認可団体の活動状況、詩歌関連の投稿、少年少女会員の投稿その他を掲載し、年12回発行して会員と関係団体及び図書館並びに希望者に配付した。

6 全国吟道講座・地区吟道講座・特別講座木村岳風記念館吟詠講座

(1) 全国吟道講座

「第58回夏季吟道大学講座」を平成24年7月28日(土)～29日(日)、東京の日本教育会館において、全国から800名が参加して開催した。

なお、外部講師2名と内部講師6名計8名で実施した。

(2) 地区吟道講座

① 「地区吟道講座」を全国10地区13会場(北海道2会場、東北、関東、神静、中部、長野、近畿、北陸、中国四国、九州2会場、沖縄)で開催し、7,356名が参加した。なお、各地

区とも全国吟道講座講師2名と地区講師2名計4名の講師で実施した。

- ② 「地区講師研修会」を平成24年4月16日(月)～18日(水)、木村岳風記念館・吟道研修センター及び平成24年6月1日(金)～2日(土)、岳風会館・吟道研修センターで開催した。

(3) 特別講座・木村岳風記念館吟詠講座

- ① 「初心者が間の工夫で上達する講座」を平成25年3月28日(木)、木村岳風記念館・吟道研修センターで、一般の方(不特定多数含む)と初心者及び指導者を狙っている者を対象に開催した。

- ② 「俳諧歌・紀行文研修講座」を上級者向けの吟詠講座として木村岳風記念館・吟道研修センターで、下記のとおり5回開催した。

ア 平成24年 9月19日(水)～20日(木)

イ 同年11月 4日(日)

ウ 同年12月 5日(水)～6日(木)

エ 平成25年 3月 6日(水)～7日(木)

オ 同年 3月29日(金)

7 中国移動教室・国内移動教室

(1) 中国移動教室

- ① 「第三次 中国移動教室 春季第1回」として、平成24年4月2日(月)～8日(日)まで6泊7日で『世界遺産(武夷山・福建の土楼)を訪ね、朱熹と韓愈を学ぶ旅』と題し、「中国移動教室」を実施した。
- ② 「第三次 中国移動教室 秋季第1回」として、平成24年9月7日(金)～13日(木)まで6泊7日で『爾靈山を訪ね、清朝の歴史を学ぶ旅』と題し、「中国移動教室」を実施した。
- ③ 日中国交正常化40周年記念事業に賛同し、「中国歴史旅行入門 日中国交正常化40周年記念特別企画訪中団」と題し、平成24年5月15日(火)～18日(金)まで3泊4日で蘇州・烏鎮・杭州を訪ね、日中両国国民の交流拡大と相互理解の増進を図った。

(2) 国内移動教室

「第3回国内移動教室」として、平成24年10月24日(水)～25日(木)の1泊2日で、『北陸路の句碑を訪ねて』と題し、「国内移動教室」を実施した。

(3) 国外支援活動

ブラジル岳風会教場と綿密な連絡をとり、吟詠指導及び教材(理事長の講義をDVDに収録したもの等)提供の支援を行った。

(4) 他流派交流

- ① 公益社団法人日本吟道学院主催の「平成24年度日本吟道夏季大学講座」が、平成24年8月25日(土)～26日(日)草加市文化会館で開催され、当学院から講師2名を派遣し、受講生として学院の代表が参加した。
- ② 二十世紀詩歌朗詠懇談会主催の「第十回研修会 コンクールと講演」が、平成25年3月31日(日)東京の学士会館で開催され、当学院からコンクールの出吟者3名が参加し、受講生として総本部役員と部員が参加した。
- ③ 埼玉県漢詩連盟主催の「漢詩と日本文化」の講演会が、平成24年11月2日(金)埼玉県の大宮ソニックシティ市民ホールで開催され、当学院から受講生として埼玉県所在の認可団体の役員と会員が参加した。
- ④ その他、財団法人全日本吟詠剣詩舞道連合会を始め各文化団体との交流を図った。

8 地区吟詠大会・地区師範吟詠大会

(1) 地区吟詠大会

「地区吟詠大会」を下記のとおり10地区10会場で開催し、全国吟道大会合吟の競吟及び全国優秀吟者吟道大会出吟者の地区予選を行った。

- ① 平成24年4月22日(日)北陸地区 アイザック小杉文化ホールラポール

- ② 同年4月29日(日)長野地区 諏訪市文化センター
 - ③ 同年5月20日(日)神静地区 小田原市民会館
 - ④ 同年5月27日(日)北海道地区 札幌道新ホール
 - ⑤ 同年5月27日(日)東北地区 秋田県民会館
 - ⑥ 同年5月27日(日)関東地区 メルパルクホール
 - ⑦ 同年5月27日(日)中国四国地区 山口市民会館
 - ⑧ 同年5月27日(日)九州地区 沖縄県南風原(はえばる)町立中央公民館
 - ⑨ 同年6月3日(日)近畿地区 神戸文化ホール
 - ⑩ 同年6月24日(日)中部地区 津島市文化会館
- (2)「地区師範吟詠大会」を下記のとおり5地区5会場で開催した。
- ① 平成24年8月5日(日)神静地区 小田原市民会館
 - ② 同年11月17日(土)北陸地区 津幡町文化会館シグナス
 - ③ 同年11月24日(土)北海道地区 札幌道新ホール
 - ④ 同年12月9日(日)九州地区 別府豊泉荘
 - ⑤ 平成25年3月31日(日)関東地区 船橋市民文化ホール

9 全国吟道大会・全国優秀吟者吟道大会・全国認可団体代表吟道大会

(1) 全国吟道大会

「第123回全国吟道大会」を平成24年10月14日(日)、北海道札幌のニトリ文化ホールで、全国10地区から出吟者1,534名と、会員以外の方を含め643名の鑑賞者が参加して開催した。なお、合吟競吟の最優秀チームに木村岳風賞を贈った。

(2) 全国優秀吟者吟道大会

「第19回全国優秀吟者吟道大会」を平成24年9月17日(祝)、東京のメルパルクホールで、全国10地区から選出された出吟者88名と、会員以外の方を含め1,086名の鑑賞者が参加して開催した。

なお、漢詩の部・和歌の部それぞれ上位5名に「吟詠十傑」、次点者各5名に「秀逸」として賞状と副賞を授与した。

(3) 全国認可団体代表吟道大会

「第4回全国認可団体代表吟道大会」を平成25年3月17日(日)、東京の日経ホールで、全国の認可団体より選出された優秀な吟者107名と、会員以外の方を含め468名の鑑賞者が参加して開催した。

なお、特別番組として機関誌『吟道』に掲載中の「日本漢詩の旅」漢詩の吟詠を行い、執筆者の二松學舎大学教授吉崎一衛先生が内容について解説をした。また、ライブ盤DVDを作製した。

10 木村岳風記念館 吟道研修センター・木村岳風墓所の一般公開

(1) 木村岳風生家及び木村岳風記念館・吟道研修センターの一般公開を行った。

(2) 木村岳風生家、木村岳風記念館・吟道研修センターの展示品の収集、保管、展示を行い、来館者に展示品の説明を行った。

(3) 木村岳風生家、木村岳風記念館・吟道研修センター、木村岳風の墓所の維持管理を行った。

(4) 「木村岳風記念館 稲荷社遷座報告祭」を平成24年5月22日(火)、木村岳風生家及び木村岳風記念館・吟道研修センターで、手長神社宮司を始め地元関係者をお迎えして行った。

11 震災復興支援

東日本大震災の被災者に対する支援活動を全国の認可団体に依頼すると共に、総本部主催の各行事等で募金活動を行い、寄せられた義援金を日本赤十字社等に寄付をした。

また、被災会員に対し、所属認可団体代表者の申請に基づき、理事会の決議を得て、普通会员の年会費を免除した。

12 その他公益目的事業達成の為下記事業を行う。

(1) 社員総会

「第3回臨時社員総会」を平成25年3月16日（土）、東京の日本教育会館で開催し、定款一部変更の件、会館建設の件について審議し原案通り可決承認された。また、平成25年度 事業計画及び収支予算の件、機構改革の件について報告した。

(2) 元老・相談役・参与合同会議

「平成24年度 元老・相談役・参与合同会議」を平成25年2月1日（金）、東京の日本教育会館で開催し、平成25年度事業計画及び収支予算の件、機構改革の件、会館建設の件について審議した。

(3) 地区代表者会議

① 「平成24年度 第1回地区代表者会議」を平成24年4月14日（土）、岳風会館・吟道研修センターで開催し、総本部役員と全国10地区の代表者が参加して、平成24年度の総本部事業の基本理念を説明すると共に、総本部役員と地区代表者の意見交換を行った。

② 「平成24年度 第2回地区代表者会議」を平成24年9月16日（日）に〔「第1回地区代表者会議」と同じ会場・参加者で開催し、平成24年度総本部事業の中間報告と意見交換を行った。〕

(4) 認可団体連絡会議

「平成24年度 認可団体連絡会議」を全国10地区で開催し、総本部役員と地区担当理事及び当該地区の認可団体代表者と事務担当者が参加して、「平成24年・25年度の学院の運営について」をテーマに協議すると共に、質疑応答を行った。

(5) 研修会

① 「師範研修会」を東京で245名、大阪で259名が受講し開催した。

② 「認可団体研修部交流会」を5地区（北海道、東北、関東、近畿、九州）で開催した。

③ 「部員研修会」を下記のとおり、総本部の常任参事・参事・幹事が参加して開催した。

ア 平成24年7月20日（金） 岳風会館 「部員のあり方について」

イ 同年8月 8日（水）・9日（木） 岳風会館 「白虎隊」（剣舞用）

ウ 平成25年3月31日（日） 岳風会館・学士会館 詩吟「託麻原の戦」生田鉄石

④ 「平成24年度 審査代行者研修会」を下記のとおり、当該地区の認可団体の審査代行者が参加して開催した。

ア 平成25年1月23日（水） 関東地区 日本教育会館 参加者75名

イ 同年2月13日（水） 九州地区 林英ビル 参加者46名

ウ 同年3月 4日（月） 東北地区 仙台市戦災復興記念館 参加者58名

(6) 認可団体の指導及び新設認可並びに認可返還

① 認可団体の要請に基づき、運営その他について適切な指導を行った。

② 認可団体設立の申請に基づき、下記のとおり認可団体として認可した。

ア はまゆう吟詠会 神奈川県 平成24年4月 1日 新設認可

イ 大同吟詠会 東京都 同年4月 1日 岳窓会が統合した。

ウ 沖縄海邦岳風会 沖縄県 同年8月10日 宮崎八紘岳風会が統合した。

エ 宮崎吟詠会 宮崎県 平成25年1月 1日 延岡岳風会と岳祥会が統合した。

③ 認可団体の申請に基づき、下記のとおり認可返還を承認した。

ア 央吟会 青森県 平成24年4月13日付

イ 岳紫会 大阪府 平成24年4月13日付

ウ 和歌山岳風会 和歌山県 平成24年5月11日付

エ 浜松岳風会 静岡県 平成25年3月 1日付

オ 岳風清吟会 愛知県 同年3月15日付

(7) 広報活動

① 情報公開の一環として、当学院のホームページに学院の紹介及び活動報告（定款・役員名簿・正会員名簿・事業報告・収支決算書・貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録・事業計画

書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込みについて)並びに大会等事業の募集案内を掲載した。アクセス件数146,742件。

- ② 当学院のホームページに、不特定多数の方が詩吟を試聴できるように、吹き込んだ吟詠2題を掲載した。また、機関誌『吟道』に毎月掲載している巻頭詩を視聴できるように掲載し毎月更新した。
- ③ 当学院のホームページに、詩吟を学びたい不特定多数の方の為に、市町村レベルで学院の認可団体の教場を検索できるように掲載した。

(8) 渉外活動

官公庁・報道機関その他関係機関との情報交換を行った。

(9) 各局・各部・各委員会の活動

上記、公益目的事業を達成する為、各局・各部・各委員会の会議を開催した。

(10) その他

- ① 会員登録用のソフトと会員データを希望する認可団体に配付した。
- ② 「公益社団法人日本詩吟学院 指導者名鑑(吟士名鑑)」を、公益社団法人移行認定を記念して、掲載を希望する師範位(上席師範・正師範・師範・準師範)を有する者を対象に3,176部作成した。
なお、指導者名鑑(吟士名鑑)を掲載した者に贈呈すると共に、購入を希望する認可団体に頒布した。
- ③ 「日本詩吟学院八十年史」作成の為の資料作りを行った。
- ④ 木村岳風生家及び木村岳風記念館・吟道研修センター、史料関係、各種資料、関係書類等の整理、保管、管理を行った。
- ⑤ その他、当学院の公益目的事業達成に必要な事業を行った。

Ⅱ 収 益 事 業

収益事業1 吟詠カセットテープ、CD、DVD及び詩吟啓発物品の作成頒布事業

- 1 『吟詠教本俳句・俳文・俳諧紀行文・俳諧歌・近代詩篇』の吟詠CD・カセットテープなど、各種教材及び副教材を作成し、希望者に頒布した。
- 2 「構成吟CD」として、『吟詠戦国の三英傑』・『風雅の誠』を「平成23年度全国優秀吟者吟道大会」の吟詠十傑者等が吹き込み、作製した。
- 3 吟詠する時、携帯すると便利な「吟詠教本和歌篇、俳句篇カード」{和歌上・下巻153首(長歌除く)、俳句48句、俳諧歌7首、表面：本文(符付け入り)、裏面：通釈}を作成し、希望者に頒布した。
- 4 新田興直筆複製色紙2種類(「月前長嘯」・「朗詠」)を作成し、希望者に頒布した。
- 5 『岳風伝』、学院証、会員バッジ、吟マーク入り賞状用紙、吟道バインダー、ネクタイ、扇子、手拭い、吟マーク入りハンカチ、名刺台紙、学院メモ用紙、あぶらとり紙等を作製し、希望者に頒布した。

収益事業2 詩吟の技量審査による段伝等の認定及び認定証(許證)を交付する事業

1 審査、資格認定

認可団体の資格審査に基づき、昇級段伝位及び師範位の資格審査を行い、級段伝位25,027名、師範位921名の合格者に許證(資格認定書)を交付した。

Ⅲ その他の事業

その他の事業1 近代吟詠の祖・木村岳風回忌法要及び功労物故者会員の合祀(岳風忌)事業

1 岳風忌

「祖宗範 木村岳風先生61回忌及び宣子夫人47回忌の法要、並びに日本詩吟学院会員功労物故者合祀祭」を平成24年7月1日(日)、長野県諏訪市地蔵寺で全国から245名が参列して開催し、法要及び会員功労物故者189柱を合祀した。

その他の事業2 詩吟関係の功労者等の顕彰事業

1 顕彰

(1) 冠稱

永年に亘り学院の発展に寄与し、特に功績の顕著な者(宗佑13名、宗匠3名、宗帥2名)に冠稱を贈った。

(2) 功労者表彰

吟道顕彰者(寿百歳の部6名、寿九十歳の部185名、功労者の部130名、ボランティアの部48名)に表彰状を贈った。

(3) 高校生表彰

小学校から高校まで継続して吟詠活動を行っている高校生会員61名を表彰した。

(4) 感謝状

地区代表者交替及び認可団体統合により認可を返還した前認可団体代表者並びに認可団体代表者交替に伴う前認可団体代表者に対し、その功績を称え、地区吟詠大会において感謝状を贈った。

(5) 死亡追贈

六段位以上の有資格者の死亡時、認可団体代表者の申請により審議の上1つ上の段伝位を贈った。

2 その他

その他、当学院の目的達成に必要な事業を行った。